

さかい学まなぶ的

にっぽん考

求められる覚悟

～ 社会保障・税一体改革法案を進めるために ～



造反者に求められる「代替案」

6月26日、衆議院本会議で社会保障・税一体改革関連法案が採決されました。消費税法案では、与党民主党から57人が反対票を投じ、16人が欠席・棄権となり、70人以上が造反する形となりました。造反するのも、その行動の結果も自分が引き受ける覚悟をもって政治家として決断したのですから、そのこと自体を批判するつもりは私にはありません。しかし、反対するのであれば、代わりの財源をどうするのかを国民に示さなければ、無責任のそしりを免れません。

社会保障財源が不足して、政府は今「つなぎ国債」も検討しているところです。反対派はこの財源不足を消費税以外の増税でまかなうのか、社会保障サービスをカットするのか、もしくは借金をし続け、財政をより一層悪化させるのか、現状への対応策をはっきり示すべきです。ここをごまかしている以上、2009年の民主党マニフェストと一緒に、彼らが信頼されることはないと思います。

「国民会議」の構成員が肝心

社会保障は今の政治の最も大きな課題です。自民党が政権を担っていても、すべてこれでうまくいく「ウルトラC」などありません。与野党のみならず、日本中の知恵を出して、支える人がどんどん減り、支えられる立場の人がどんどん増える日本で、国民が安心して暮らせる仕組みを作ることが必要です。

今まで政局・選挙に絡めてきたテーマなので、どうしてもオブラートに包む表現になったり、楽観的な前提での議論になっていました。

今回の採決に社会保障制度改革国民会議の設置が入っており、一年以内に議論をまとめることになっています。骨抜き審議会のようにするのはなく、実効性のある機関とすべきで、ここを知恵の結集の場にすべきです。そのためには政治家

を委員として入れるという民主党の要求に自民党は断固反対し、政局を持ち込まないことを徹底させることが必要だと私は思います。そして冷静に考え、現状に即した制度を提案してもらうことです。おそらく、穏やかとは言い難いものとなるでしょうが、それをたたき台に国民的議論としていくべきです。そして、方向性が決まれば、政治の責任として、それを実現していかなばなりません。

「全世代で負担」という考え方

今回の消費税の税率アップの根底には、現役世代の負担の緩和という発想があります。今のままでは不足する財源負担は、現役世代で収入のある人だけにかかってきてしまいます。親の世話をし、子育てもあり、自分達の定年後も考えていかなばならない世代です。この世代に過重な負担を強いることは、社会のひずみをもたらし、活力ある国にはなっていくません。バランスを考えれば、各年代層の様々な方に税負担をしてもらう消費税は避けられないと考えます。

財源確保のためのその他の政策

しかしそれは、私たちの生活がより安心したものになるために導入すべきものであり、そのために、暮らせなくなったり、今より困る人が多くなるようではいけません。消費税導入には、自民党が主張してきたとおり、日銀をも巻き込んでの金融対策やデフレ脱却のための経済対策、低所得者向けの措置、
(ウラ面へ続く)

Opinion～あなただったら？～

Q．あなたは消費税の増税に賛成？反対？

賛成 反対 わからない その他(具体的に)
あなたのご意見をメールでお寄せ下さい

info@sakaimanabu.com

あなたの声が政治を動かす。意見集約型政治を目指します。

前衆議院議員

さかい学事務所

ホームページ <http://www.sakaimanabu.com/>

〒244-0003 神奈川県横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階

045-863-0900 FAX 045-865-6700 info@sakaimanabu.com



(オモテ面より続く)

そして税を転嫁できないということが起きないような対策など、いくつもの対策を同時に行っていく必要があります。一つの政策を変更すれば、それに伴いいろいろな変化が出てきます。その変化の負の影響を最小限にしていく対応が求められます。

税収増と同時に、支出を抑えるという観点も必

要になります。家族、親戚、地域などのあり方も含め、総合的な判断が求められるでしょう。ここは国民会議において十分検討してもらわなければなりません。社会保障の課題は最も大きな「時代の矢面」です。政治家に改めて勇気と覚悟が求められています。

さかい学の活動ご案内

言いだしっぺ さかい学を育てる会

日時：平成24年7月23日(月)午後6時開会

第一部 講演会(午後6時~)

講師：石破茂・元防衛庁長官

テーマ：日本の安全保障 その現状と課題

第二部 懇親会(午後7時~)

会場：横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ (受付4階)

横浜市西区北幸1-3-23 TEL045-411-1150(代表)

講演会：4階「清流」 懇親会：5階「日輪」

会費：一万円

開催決定!



ポスティング&ポスター貼替え キャンペーン 開催いたします

実施期間：

7月1日(日)~7月31日(火)

さかい学の政策や活動のご案内のリーフレットをご近所にポスティング(各戸のポストに投函)していただける方、さかい学のポスターを貼替えてくださる方を募集しております。ご都合の良い時間に、お配りいただける数量で結構です。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

そして今回も、ご参加いただいた方々との「お疲れさま会」を開催いたします。

日本の安全保障を考える会

第2期 第1回目 開催します

日時：6月30日(土)10:00~12:00

場所：本多産業株式会社 1階会議室

(横浜市戸塚区戸塚町3814)

入場無料

内容：防衛大綱と防衛力整備

講師：竹内 理氏(民間の軍事アナリスト)

案内人：さかい学

安全保障に関するさかい学の政策立案を意識した勉強会として発足した「考える会」も、好評のうちに第2期を迎えました。沖縄の基地問題、国境付近の防衛問題など、政権交代後様々な課題が露呈しています。日本の国益を守るため、今こそ日本の安全保障をしっかりと考える必要があります。「自分の国を考える」きっかけとして、ご参加ください。



ゆいっこの活動報告

岩手県大槌町復興支援視察

行ってまいりました

感謝!

先にご案内した「復興支援視察」は多くの方々にご参加いただき、無事に帰ってまいりました。震災直後から何度も横浜の方々と一緒に訪問をさせていただいており、少しずつ知り合いが増え、そのおかげで「顔の見える、息の長い支援」が着実に広がって来ています。今回はゆいっこが販売している「おおちゃん、こぶちちゃん人形」の製作現場や、横浜に何度かおいでいただいている「居酒屋みかどん」、仮設住宅などを訪問し、現地の方々と語り合うことができました。詳しいご報告は順次ホームページにアップしてまいります。(写真：大槌中学校へ千羽鶴を贈るアメリカから参加した高校生)



ゆいっこ 横浜言いだしっぺ 支部

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町142 鈴木ビル3階

045-863-0900 FAX 045-865-6700

ホームページ <http://yokohama.yuicco.com/>

